

整理番号 S-126

出 展 織物欠点解析事例集(第3集)

欠 点 名 たて筋(糸傷)

品 名 スレーキ(裏地)

試料形態 織物

組 織 2/1 綾(たて 120 本/インチ、よこ 86 本/インチ)

糸 使 い

たて糸:異型断面ポリエステル 75d/36f

よこ糸:異型断面ポリエステル 75d/36f

欠点発生状況

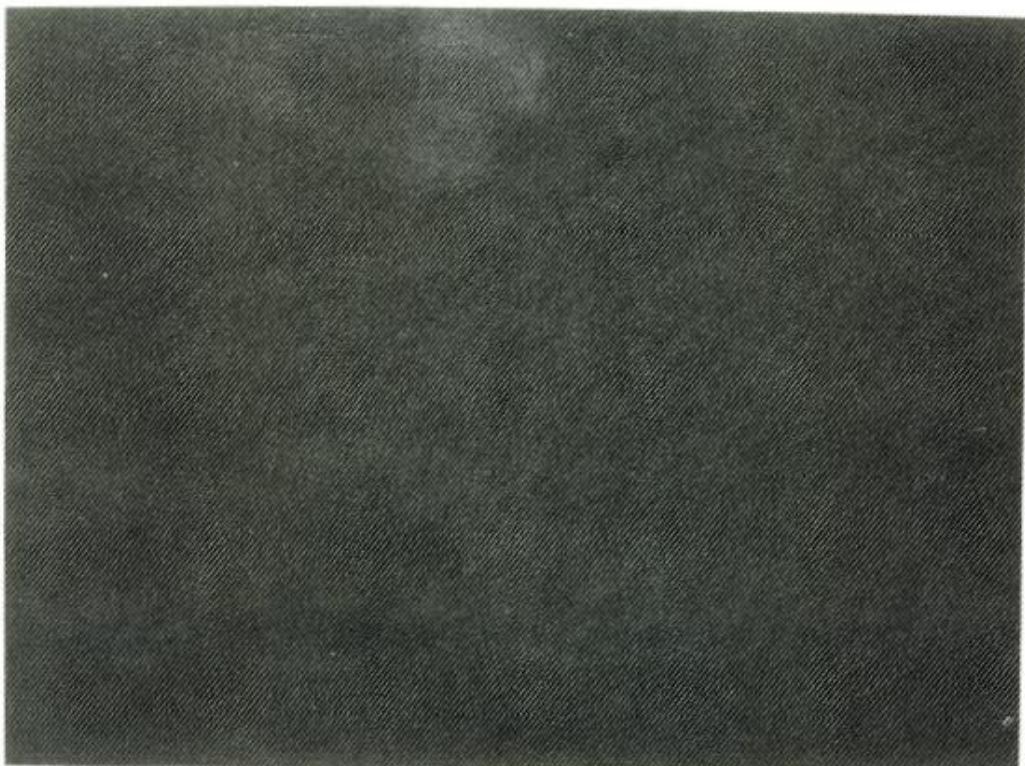
WJL 製織後、生機検査、反末染検査で発見されず、加工上がり検査で発見された。たて筋は加工色がグレー、黒、紺色に目だち、淡色には殆ど見えない。

工 程

たて:原糸—サイジング—巻き返し—引込み—WJL

(ビームトゥビーム)

試料写真



試験結果

(1)強伸度測定

正 常 糸		欠 点 糸	
(g)	(%)	(g)	(%)
335	30.0	× 317	25.2
350	29.2	330	27.5
346	28.2	× 311	22.0
354	35.1	343	29.0
323	28.7	331	25.7
345	29.0	323	28.9
334	25.3	327	25.3
350	31.5	327	24.8
345	30.0	× 312	22.0
354	29.0	325	25.0
325	28.5	335	24.8
330	25.4		
×	340.9	29.2	325.5
			25.5

×印は低下が目立っている。

所 見

たて筋部分を顕微鏡で観察したところ、糸に損傷があることがわかった。このため正常糸に比べて筋部分は強度、伸度共に低下している。このことから本欠点は製織中に発生したと思われる糸の損傷が主因で、その部分が白っぽく見える欠点である。

防止対策として綜続を良質なものに替え、ミドルフックを2箇所増して15cm間隔とし、開口運動中の綜続の振れをなくした。筘は内天地 55mm、空間率 56%の研磨良好なセミオパール羽形のものに取り替え、織前をより安定させるために、復列テンプルを採用した。この結果、たて筋は解消した。